

平成 21 年度から配置している学芸員養成科目について

加藤 雅彦

本学薬学部動物生命薬科学科は、「薬学と実験動物学の知識を基盤として持ち、医薬品、化粧品、食品、環境及び動物のさまざまな分野において、常に問題解決能力を念頭に置いて活躍することができる専門家の養成を目的」（九州保健福祉大学学則）として、平成 20 年に開設された。特に動物に関心のある学生が集まったため、その後、在学生や受験生の中から、動物園に勤めたい、あるいは、動物園に関する勉強をしたい、との希望から、学芸員養成課程の設置が検討され、平成 21 年 1 月に文部科学省に学芸員養成課程を設置する届出を行い、受理され、平成 21 年度からこの課程が運用されているものである。

その一方において、「博物館法施行規則の一部を改正する省令」（平成 21 年文部科学省令第 22 号）が平成 21 年 4 月 30 日に公布され、平成 24 年 4 月 1 日から施行される。この改正により、学芸員養成科目が変更され、平成 24 年度から施行となる。

このように、学科および学芸員養成課程の設置と学芸員養成科目の変更が同時期に重なったため、この養成課程の科目は、現行省令に基づく科目を配置したことはもちろんのこと、新たに省令に定める科目も「その他の関連科目」（表 1 参照）として配置した。また、学科が所属する薬学部には薬草園がある。この薬草園を使った科目「薬用植物学」を「その他の関連科目」とした。

なお、博物館資料論と博物館展示論については、それぞれⅠとⅡに科目を分けている（表 1 参照）。各Ⅱについて、動物園に特化した内容となっている。これは、本学科が動物を専門とする希望者が多いために配慮したものである。

以上の本学薬学部動物生命薬科学科における学芸員養成課程の科目は、表 1 のとおりである。

表 1 学芸員関連科目

現行省令（平成 24 年 3 月まで）に定める科目	単位数	本学薬学部動物生命薬科学科開講、学芸員養成科目	単位数
生涯学習論	1	教育学	2
教育学概論	1		
博物館概論	2	博物館概論	2
博物館資料論	2	博物館資料論Ⅰ	1
		博物館資料論Ⅱ	1
博物館経営論	1	博物館経営論	2
博物館情報論	1	博物館情報・メディア論	1
視聴覚教育メディア論	1		
博物館実習	3	博物館実習	3
その他の関連科目	—	博物館資料保存論	2
		博物館教育論	2
		博物館展示論Ⅰ	1
		博物館展示論Ⅱ	1
		薬用植物学	2

科目名	教育学		単位数	2	法定科目名	生涯学習概論
担当者名	登坂 学 (講師)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	前期	30時間	
目的・概要	前半の目的は、教育及び教育学に関する概略を理解することで、教育の概念及び本質に始まり、教育思想、教育関連法規、人の発達、学校教育、家庭教育、自己主導学習、開発教育などについて学習する。後半の目的は、社会教育との関わりから生涯学習の意義を理解することであり、社会教育の歴史、公民館、図書館及び博物館の概要、臨時教育審議会第三次答申による「生涯学習社会への移行」とそれ以後の生涯学習の概念及び理念、生涯学習の方法、生涯学習の指導者などについて学ぶ。					
評価方法	短いレビュー (頻繁に提出を求める) 及び期末試験で総合的に判定する。					
履修する上での必要条件 (注意事項)	各自が受けてきた教育体験を、教育理論や政策という大きな枠組のなかで理解していくことを求めます。	オフィスアワー	月曜～金曜日 18:10～19:00 (ただし、会議や出張時は除く)			
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)				授業方法	担 当
1	【教育と教育の本質】 日本国憲法、教育基本法、児童憲章、民法等に規定された今日億の根本理念や目的、目標を説明できる。これまで受けてきた教育課程を振り返り、各自の教育観を表現できる。				講義 SGD	登坂 学
2	【教育思想と教育関連法規】 教育における系統主義と経験主義の違いを説明できる。それぞれの長所と短所について論ずることができる。				講義 SGD	登坂 学
3	【発達】 発達段階の特徴について説明できる。青年期における問題の事例について考え、自分の意見を表明できる。				講義 SGD	登坂 学
4	【学校教育／学校論、教師論、授業論】 関連法律に基づく学校の定義と種類、設置者、設置義務、学校教育の目的と目標等について説明できる。これまでに受けてきた教育を踏まえて理想の教師や教育像を自分なりに表明できる。				講義 SGD	登坂 学
5	【家庭教育、子どもの権利条約】 子どもの権利条約の成立背景及び過程、我が国の批准と国内での実施状況等について説明できる。家庭において発生する子どもの権利侵害について理解し、解決策等を自分なりに考え表明できる。				講義 SGD	登坂 学
6	【自己主導学習】 学校課程における授業は教育指導要領や学校・教員が目標や活動を定めることが多いため、学生が真に必要なとする知識やスキルとギャップが生じることがある。授業で得た知識を「その場限り」としないためには、教員と学生が互いに目標や活動を定めることが望ましい。真の学生中心の授業であると議論したい。				講義 SGD	登坂 学
7	【開発教育／南北問題、問題発見・解決学習】 教育をグローバルな見地から考え、とくに開発途上国ではどのような教育問題が存在するのか説明できる。それについて解決策等を自分なりに考え表明できる。				講義 SGD	登坂 学
8	【日本における社会教育の歴史】 教育といえば学校で行われるものとの固定観念を脱却できる。戦前社会教育の展開が一因となってどのような悲劇が生まれ、戦後社会教育の展開過程においてどのような先進的取り組みがあったのか説明できる。				講義 SGD	登坂 学
9	【公民館、図書館及び博物館の概要】 法律に基づく公民館、図書館及び博物館の概要を説明できる。その基本的な役割及びサービスを説明でき、利用することができる。				講義 SGD	登坂 学
10	【生涯学習の概要と生涯教育への包含・移行】 生涯教育の理念及びその誕生過程を説明できる。我が国における生涯学習の発展状況を理解し説明できる。各自どのような生涯学習活動をしていきたいか考え表明できる。				講義 SGD	登坂 学
11	【生涯発達と生涯教育】 とくに高齢期の生涯教育を考えるために、WHOの提唱する「アクティブ・エイジング」という概念を理解し説明できる。この概念を生かす生涯教育に取り組みを検証するなかから、高齢期の生涯教育の取り組みを自分なりに考えアイデアを表明できる。				講義 SGD	登坂 学
12	【生涯教育の方法・形態・評価】 延岡市で行われている市民大学院講座を事例に、どのような方法、形態、評価が行われているか検証する。これにより、生涯教育における講座企画・運営の典型的手法を理解し実践することができる。				講義 SGD	登坂 学
13	【生涯学習と学校】 小学校・中学校・高校・大学の開放の歴史を説明できる。学校開放の具体的事例の検証を踏まえて、各自どのように学校の持つ施設やスタッフを利用したいか考え表明できる。				講義 SGD	登坂 学
14	【生涯学習の指導者】 生涯学習の指導者としてのファシリテーターの役割を説明でき、演じることができる。会議の形態やアイスブレイクの方法などを理解し、実践できる。				講義 SGD	登坂 学
15	【教育学と生涯学習の総括】 本講義で取り上げた内容に関連して重要なメッセージ性を含んだ映画を一本視聴する。監督の狙いやストーリーについてコメントやレビューを表明できる。				視聴 講義	登坂 学
教科書	書籍名	講義のなかで適宜紹介する。		出版社名		
	著者名			ISBN		
	書籍名			出版社名		
	著者名			ISBN		
	書籍名			出版社名		
参考書	書籍名	講義のなかで適宜紹介する。		出版社名		
	著者名			ISBN		
	書籍名			出版社名		
	著者名			ISBN		

科目名	博物館概論		単位数	2	法定科目名	博物館概論
担当者名	山内 利秋 (准教授)				担当1名	
学 科	動物生命薬科学科		3年次	前期	30時間	
目的・概要	定義・分類・歴史といった基本的な知識から、現代における機能・制度・運用といった点に至るまで、博物館の根幹に関わる諸要件を講義する。 特に多様化する今日の博物館の役割を視野に入れながら、博物館と社会との関係性の理解を目指していく。博物館学の最も基本的・根本的な部分であるので、この科目の習得を博物館実習の履修条件とする。					
評価方法	レポート・試験					
履修する上での必要条件(注意事項)	この科目を履修・単位修得する事が、博物館実習を受講する前提となる。		オフィスアワー	講義時間以外の在席時		
授 業 計 画						
回数	タイトル (到達目標)			授業方法	担当	
1	【博物館 (Museum) とは何か】 理念・機能・制度的な位置付け・学芸員の役割を認識し、博物館と博物館学の意義を理解していく事を目指す。			講義	山内 利秋	
2	【博物館の歴史1】 博物館の発生から展開まで、歴史的な経緯と経過を理解していく事で、今日に至る博物館の存在を理解していく。			講義	山内 利秋	
3	【博物館の歴史2】 前回に引き続き博物館の発生から展開まで、歴史的な経緯と経過を理解していく事で、今日に至る博物館の存在を理解していく。			講義	山内 利秋	
4	【博物館と関連する法規】 博物館法・社会教育法・文化財保護法等、関連する諸法規を理解する。			講義	山内 利秋	
5	【博物館資料の収集・保管・展示】 博物館の基本機能である収集・保管・展示について理解する。			講義	山内 利秋	
6	【現代社会と博物館1】 生涯学習と博物館をテーマとしたミュージアムエデュケーションについて理解する。			講義	山内 利秋	
7	【現代社会と博物館2】 学校教育と博物館をテーマとしたミュージアムエデュケーションについて理解する。			講義	山内 利秋	
8	【学習パッケージを実践する1】 ミュージアムエデュケーションにかかる学習パッケージを企画・実践する事で、その役割を理解する。			演習	山内 利秋	
9	【学習パッケージを実践する2】 学習パッケージの評価方法を学習する。			演習	山内 利秋	
10	【文化資源の保護・環境資源の保全1】 諸資源の保護・保全の研究から地域社会における博物館と学芸員の役割を理解する。			講義	山内 利秋	
11	【文化資源の保護・環境資源の保全2】 前回に引き続き、諸資源の保護・保全の研究から地域社会における博物館と学芸員の役割を理解する。			講義	山内 利秋	
12	【博物館建築論】 博物館施設がどのようなコンセプトや機能を前提として構築されていくかを理解する。また建築基準法等の関連法規についても同じく理解する。			講義	山内 利秋	
13	【博物館資料から考える1】 博物館資料からテーマを考え、展示企画を考えていくというワークフローを理解する。この回は「生活文化とは何か」がテーマ。			講義	山内 利秋	
14	【博物館資料から考える2】 前回に引き続き、博物館資料からテーマを構想し、展示企画を考えていくというワークフローを理解する。この回は「地域の生態系を考える」がテーマ。			講義	山内 利秋	
15	【博物館の経営を考える】 博物館経営は、今日の博物館を取り巻く状況において極めて重要な課題である。博物館経営のあり方・問題点を今日的視点において理解していく事を目標とする。			講義	山内 利秋	
教科書	書籍名	新しい博物館学		出版社名	芙蓉書房出版	
	著者名	全国大学博物館学講座協議会西日本部会 編		I S B N	978-4-8295-0416-1	
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		

科目名	博物館資料論 I		単位数	博物館資料論	法定科目名	1
担当者名	増田 豪 (非常勤講師)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科			3年次	前期	15時間
目的・概要	博物館における様々な活動は資料なしには成立しない。いわば、資料は博物館になくてはならない、博物館の根幹をなすものである。本講義では、博物館資料がどのようなものであるかを理解するとともに、博物館資料の収集、分類、整理保管、展示等の理論や方法に関する基礎的な知識および技術の習得を目的とする。また、調査研究活動、教育普及活動についても、具体的な事例を挙げて概説する。					
評価方法	毎回の講義終了時に記入してもらうリアクション・ペーパー、受講態度、試験等の結果を総合的に評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	学芸員資格を取得するための必須の科目。他の関連科目との相互補完性が高いので、その点も留意して受講すること。また、積極的に各地の博物館を見学し、展示装置や解説等にも目を向けること。			オフィス アワー	講義前後の可能な時間	
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)			授業方法	担 当	
1	【博物館資料とは何か】 博物館資料の多様性を理解し、その分類方法と資料の価値とは何かということについて説明できる。			講義	増田 豪	
2	【博物館資料の収集とその意義】 博物館における資料収集の理念を理解し、収集方法と収集を行う上で求められる能力ついて説明できる。			講義	増田 豪	
3	【博物館資料の整理とその意義】 博物館における資料化の過程を理解し、資料管理の上で必要となる各種台帳について説明できる。			講義	増田 豪	
4	【調査研究の意義と方法】 博物館における調査研究には、どのような分野が存在するのかを理解し、その成果の還元方法について説明できる。			講義	増田 豪	
5	【博物館資料の取り扱いと収納方法①】 博物館資料を取り扱う上で前提となる心構えや環境などを理解し、実践できる基礎知識を習得する。			講義	増田 豪	
6	【博物館資料の取り扱いと収納方法②】 人文資料に実際に触れることで、先に学んだ理念や理論を実感し、取り扱いに関する基礎技術を習得する。			実習	増田 豪	
7	【博物館資料の取り扱いと州の方法③】 人文資料に実際に触れることで、先に学んだ理念や理論を実感し、収納に関する基礎技術を習得する。			実習	増田 豪	
8	【博物館資料の活用】 全国各地における博物館資料の様々な活用事例を学び、新たな活用の可能性について提案できる。			講義	増田 豪	
教科書	書籍名	『新しい博物館学』		出版社名	芙蓉書房出版	
	著者名	全国大学博物館学講座協議会西日本部会 編		I S B N	978-4-8295-0416-1	
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		

科目名	博物館資料論Ⅱ	単位数	博物館資料論	法定科目名	1
担当者名	出口 智久 (非常勤講師)				担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	後期	15時間
目的・概要	動物園(自然科学に関する博物館)の資料(展示動物ならびに非生体資料等)の収集や管理(飼育等)、調査研究について学ぶ。展示動物の飼育管理については飼料、疾病、繁殖、保管施設、学芸員(飼育員)の心得等をできる限り具体的にハード、ソフト両面に及んで示し理解を深める。展示動物の収集には野生動物の生息状況や国内外の法的見地から問題点が山積する。これらも示し関心と理解を深める。研究や自然保護にも触れ、業務の多様性や意義を理解する。				
評価方法	レポートと期末試験の点数で総合的に評価する。				
履修する上での必要条件(注意事項)		オフィスアワー	講義前後の可能な時間		

授 業 計 画

回数	タイトル (到達目標)	授業方法	担当
1	【動物園の資料とは】 動物園の資料について学ぶ。特に、分類では基礎となる種や命名法、動物と植物相違点、哺乳類、鳥類、爬虫類についての基礎知識を理解する。	講義	出口 智久
2	【動物の飼料について学ぶ】 動物の飼料の基礎を学ぶ。特に飼料は栄養と栄養素、それに関わる生理の基礎知識を学び、動物ごとに飼料が異なることや一定の法則性があること理解する。	講義	出口 智久
3	【動物の管理について学ぶ】 動物園資料の動物は生き物であることから様々な管理業務が生まれる。生息環境の相違など具体的な事例を多く示し、その多様性を理解する。また、疾病の基礎を学び、主に予防法について理解を及ぼせる。	講義	出口 智久
4	【収集について学ぶ】 動物園の資料収集方法について、動物園の現状、法的手続き等を学ぶ。また、具体的に動物園内での移動について具体的事例を捕獲から移動まで思考する。	講義	出口 智久
5	【動物の繁殖について】 現在、動物園での資料確保で最も重要な繁殖について多くの事例を示し繁殖のキーとなるポイント等を学習する。	講義	出口 智久
6	【資料管理の心構えについて】 動物を管理する上での心構えを事故防止や脱出防止、疾病予防、飼料の給餌、繁殖、種の保存法・動物愛護法の順守等について学習する。	講義	出口 智久
7	【データならびに非生体資料について】 飼育下での野生動物に関するデータは、展示動物同様に重要な資料である。これらの記録、管理、利用法について学習する。あわせて、非生体資料についても基礎知識を学習する。	講義	出口 智久
8	【研究と自然保護】 動物園での研究について、具体的な事例を基に推移を学習する。自然保護については、生息域外保全(種の保全)と生息域内保全の具体例を学び、自身の周辺の自然保護にも関心を持つ。	講義	出口 智久
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

教科書	書籍名	出版社名
	著者名	I S B N
	書籍名	出版社名
	著者名	I S B N
	書籍名	出版社名
参考書	著者名	I S B N
	書籍名	出版社名
	著者名	I S B N
	書籍名	I S B N

科目名	博物館経営論		単位数	2	法定科目名	博物館経営論
担当者名	渡邊 博史 (非常勤講師)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		4年次	後期	30時間	
目的・概要	国際化、情報化、高齢化、地域間格差などのさまざまな社会変化、さらに、財政悪化や指定管理者制度の導入などにより博物館経営を取り巻く状況は様変わりし、その役割は大きく変化しようとしている。こうしたなかで、地域博物館のあるべき姿を見定め、学芸員としての視点から博物館をどのように運営していくべきかを考える。					
評価方法	年数回のレポート及び期末試験により総合的に評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	これからの時代を担う新しい博物館はどうあるべきか。その運営には知識だけでなく柔軟な思考と行動力が求められる。そうした姿勢をもって学んでほしい。		オフィスアワー	講義前後の可能な時間		
授 業 計 画						
回数	タイトル (到達目標)			授業方法	担当	
1	【博物館経営の目的と理念】 博物館経営の目的や理念、現状や課題について基本的な知識を習得する。			講義	渡邊 博史	
2	【地域博物館の運営Ⅰ】 内藤記念館で開催される能面展を通して地域における博物館のあり方や運営方針を理解する。			学外実習	渡邊 博史	
3	【地域博物館の運営Ⅱ】 能面展で学んだことを基に博物館と地域学を結びつけた地域博物館のあり方を討議し、課題を認識する。			S G D	渡邊 博史	
4	【欧米の博物館に学ぶⅠ】 主にニューヨークの文化施設の運営やサービスについて学び、新しい時代の博物館運営理念を理解する。			講義	渡邊 博史	
5	【欧米の博物館に学ぶⅡ】 ミュージアムを産業として捉える視点から英国等の博物館運営について学び、博物館が地域活性化に果たすべき役割を認識する。			講義	渡邊 博史	
6	【欧米の博物館に学ぶⅢ】 欧米の博物館の考え方を基に新しい時代の地域博物館のあるべき姿を討議し、その目標と経営について理解を深める。			S G D	渡邊 博史	
7	【地域活性化と博物館Ⅰ】 須美江ファミリー水族館を視察し、付近のレジャー施設との関連や水族館の担う役割などを理解する。			学外実習	渡邊 博史	
8	【地域活性化と博物館Ⅱ】 水族館とブルーーツリズムとの関係を討議し、集客効果等に対する考察力を習得する。			S G D	渡邊 博史	
9	【博物館連携Ⅰ】 博物館相互、図書館等の文化施設、産学民との連携についてその意義や効果を理解する。			講義	渡邊 博史	
10	【博物館連携Ⅱ】 博物館連携について学んだことを基に討議し、相互協力や連携の在り方についての認識を深める。			S G D	渡邊 博史	
11	【新しい博物館サービスの展開Ⅰ】 博物館は何かできるのか。求められているものは何かといった視点から博物館のサービスを理解する。			講義	渡邊 博史	
12	【新しい博物館サービスの展開Ⅱ】 博物館サービスについてそれぞれが考えるアイデアを基に討議し、事業実現にむけての考察力を習得する。			S G D	渡邊 博史	
13	【事業計画と予算Ⅰ】 博物館の収入と支出、事業計画と予算編成についての基本を理解する。			講義	渡邊 博史	
14	【事業計画と予算Ⅱ】 事業の立案及び具現化のための計画書、予算書の作成方法を習得する。			演習	渡邊 博史	
15	【事業計画と予算Ⅲ】 事業計画案の問題点抽出、客観的分析、評価を行いながら予算書を作成し、事業実施への手順を理解する。			演習	渡邊 博史	
教科書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		

科目名	博物館情報・メディア論		単位数	2	法定科目名	博物館情報・メディア論
担当者名	山内 利秋 (准教授)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	前期	30時間	
目的・概要	急速に展開するICT社会において、博物館に関わる情報はどのように扱われるべきか。記録資料としての情報を展示資料として公開していくまでの間にどのようなワークフローが展開されていくか。デジタルアーカイブズの作成を通じて、そこに関わってくるさまざまな技術の習得や知的財産等制度上の取り扱い、展示効果や来館者及び情報利用者からのフィードバックに至るまで、博物館をめぐるさまざまな情報に対して、学芸員がどう関わっていくかを認識していく。					
評価方法	課題制作・試験					
履修する上での必要条件(注意事項)	専門性が高く、博物館学の中でも独特な用語を多用する分野であるので、十分な理解が求められる。課題については安易なテーマを求めない事。	オフィスアワー	講義時間以外の在席時			
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)			授業方法	担 当	
1	【博物館における情報を考える】 博物館における情報の電子化の意味・必要性について理解する。			講義	山内 利秋	
2	【博物館情報の利用者は誰か1】 博物館における電子情報を、利用者の視点から認識する方法を、特に従来の資料情報化との関連性から理解する。			講義	山内 利秋	
3	【博物館情報の利用者は誰か2】 前回に引き続き、博物館における電子情報を、利用者の視点から認識する方法を、特にアクセス管理の側面から理解する。			講義	山内 利秋	
4	【検索について考える】 博物館における資料の多様性という観点における、情報検索について理解する。			講義	山内 利秋	
5	【ダブリンコアと情報標準】 前回の検索という考え方を受け、国際的な情報標準であるダブリン・コアとその役割・問題点について理解する。			講義	山内 利秋	
6	【博物館の情報化にかかるメディア】 特に来館者が博物館において利用するメディアについて理解する。			講義	山内 利秋	
7	【写真による記録化の方法1】 情報記録化の基本である写真について、撮影理論を理解する。			演習	山内 利秋	
8	【写真による記録化の方法2】 情報記録化の基本である写真について、撮影実践してその方法を理解する。			演習	山内 利秋	
9	【電子画像の処理について】 写真撮影によって得られた画像に関するメタ情報を認識し、保存・加工・情報流通に関わるさまざまな処理方法を理解する。			講義	山内 利秋	
10	【キャプションと検索語彙について】 博物館資料に添付されるキャプションと検索語彙の文化的役割について理解する。			講義	山内 利秋	
11	【知的財産権をどう考えるか】 知的財産権は博物館資料において重要な課題である事を認識し、著作権法をはじめとするさまざまな法制度について理解する。			講義	山内 利秋	
12	【デジタルアーカイブズを構築する1】 これまでの経過を踏まえ、博物館情報としてのデジタルアーカイブを各自でテーマ設定して制作していく。その第1回目。			演習	山内 利秋	
13	【デジタルアーカイブズを構築する2】 デジタルアーカイブ構築の第2回目。			演習	山内 利秋	
14	【デジタルアーカイブズを構築する3】 デジタルアーカイブ構築の第3回目。			演習	山内 利秋	
15	【デジタルアーカイブズを構築する4】 デジタルアーカイブ構築の第4回目。この回での提出を目指す。			演習	山内 利秋	
教科書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		

科目名	博物館実習		単位数	3	法定科目名	博物館実習
担当者名	加藤 雅彦 (教授) ・山内 利秋 (准教授)				担当2名	
学 科	動物生命薬科学科	4年次	前期	90時間		
目的・概要	この授業は、文部科学省「博物館実習ガイドライン」2009.4に沿って行う。 一般目標：学芸員養成教育において学んだ知識・技術や理論を生かして、学内及び館園での実体験や実技を通し、学芸員として必要とされる知識・技術等の基礎・基本を修得する。概要：本学では、2単位分の「学内実習」（実務実習は、「展示教育実習」及び「展示動物飼育実習」）と1単位分の「館園実習」（実際の博物館、動物園等における実習）からなる。					
評価方法	館園実習報告文、実際の展示教育（展示と解説）、プレゼンテーション及び学習態度で総合的に評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	3年次前期開講「博物館概論」の合格者のみが受講することができる。4月当初における第1回授業における説明をよく聞く。	オフィスアワー	掲示に従うこと。			
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)			授業方法	担 当	
1	【事前指導】 この実習授業の全体像を理解し、実習の準備を始めることができる。			講義	加藤・山内	
2	【実務実習の企画】 オープンキャンパスにおいて展示「哺乳類組織の鏡検」（展示教育実習の成果）及びイベント「犬によるフリスビー」（展示動物飼育実習の成果）を企画することができる。			講義	加藤 雅彦	
3	【展示教育実習①】 「哺乳類組織の鏡検」における解説パネルを作製し完成させることができる。			実習	加藤 雅彦	
4	【展示教育実習②】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（循環器系）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
5	【展示教育実習③】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（呼吸器系）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
6	【展示教育実習④】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（消化器系）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
7	【展示教育実習⑤】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（生殖器系）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
8	【展示教育実習⑥】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（泌尿器系）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
9	【展示教育実習⑦】 「哺乳類組織の鏡検」における組織（筋、外皮）を理解し、解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
10	【展示教育実習⑧】 「哺乳類組織の鏡検」の準備として、実際に展示することができる。			実習	加藤 雅彦	
11	【展示教育実習⑨】 実際の「哺乳類組織の鏡検」開催中に、来場者に解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
12	【展示教育実習⑩】 実際の「哺乳類組織の鏡検」開催中に、来場者に解説することができる。			実習	加藤 雅彦	
13	【館園実習ガイドンス】 館園実習に関する準備について述べる事ができる。			実習	加藤・山内	
14	【館園実習報告発表会】 館園実習の報告をプレゼンテーションすることができる。			実習	加藤・山内	
15	【事後指導】 実習全体を反省し、学芸員に関する基礎・基本を述べる事ができる。			講義	加藤・山内	
16				以上、30時間		
17						
18	【展示動物飼育実習①～⑮】 展示動物としての犬を飼育し、その特性を解説することができる。このとき、犬によるフリスビーを練習する。			実習	加藤 雅彦	
19				以上、30時間以上		
20						
21	【館園実習①～⑮】 各受け入れ先における到達目標を達成することができる。1日7時間として、5日以上行う。			実習		
22				以上、30時間以上		
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
教科書	書籍名	新しい博物館学	出版社名	扶養書房出版		
	著者名	全国大学博物館学講座協議会西日本部会	I S B N	978-4-8295-0416-1		
	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			
参考書	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			

科目名	博物館資料保存論		単位数	博物館保存論	法定科目名	2
担当者名	山内 利秋 (准教授)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	後期	30時間	
目的・概要	資料保存には大きく分けて「保存するための知識・技術の習得」と「保存という機能を長期間運営していくための確実なシステムの確立と把握」が必要である。現代においてはさらに、IPM(総合的病害虫管理)にみられるようにヒトの健康や環境への配慮といった課題が組み込まれている。こうした観点を交え、資料保存(アーカイバル)に必要な環境管理の知識や一部修復に関わる技術の習得、さらに諸制度の確立と運用・保存資料の活用について学習していく。					
評価方法	試験					
履修する上での必要条件(注意事項)	博物館学全般に言える事だが、特に資料保存の問題は領域横断的な思考を総動員する分野でもある。柔軟な思考を持って物事に対処する姿勢が求められる。		オフィスアワー			
授 業 計 画						
回数	タイトル (到達目標)			授業方法	担当	
1	【博物館資料の保存について】 博物館において資料を保存するという考え方について、理解する。			講義	山内 利秋	
2	【室内汚染、大気汚染、シックミュージアム】 資料を管理する博物館施設内外の汚染、施設の建材から発生する化学物質による資料に対する影響について理解する。			講義	山内 利秋	
3	【リスクへの対処と管理】 博物館において発生しうる様々な危険要因からのリスクと回避、リスクを踏まえた保存環境づくりについて理解する。			講義	山内 利秋	
4	【汚染物質の性状と影響】 特に空気汚染物質の化学反応、汚染物質の挙動、室内汚染物質について理解する。			講義	山内 利秋	
5	【汚染物質の制御】 保存環境づくりと汚染制御、大気汚染の影響、施設に使用されるコンクリートからのアルカリによる問題について理解する。			講義	山内 利秋	
6	【博物館資料の保存】 博物館資料の取り扱いと保存、有機物資料の保存処理について理解する。			講義	山内 利秋	
7	【複製品について】 資料保存としての複製品の意義・分類、模型制作を通じて、博物館における複製品の役割を理解する。			演習	山内 利秋	
8	【動物性資料の劣化】 動物性資料の劣化と保存処理について理解する。			演習	山内 利秋	
9	【博物館資料の保存と地域社会】 地域社会において資料の重要性の認識を高める事で、劣化を予防させていくという考え方を理解する。			講義	山内 利秋	
10	【種の保存と動物園の役割】 野生生物の保護、生物多様性と種の保存において動物園が果たしている役割を理解する。			講義	山内 利秋	
11	【伝統文化と地域社会】 地域の伝統文化とは何か、伝統芸能の保存、高齢化や維持の問題について理解する。			講義	山内 利秋	
12	【建造物にみる保存】 建築物と建造物、博物館における建築、建築基準法における防火基準等について理解する。			講義	山内 利秋	
13	【博物館資源の活用1】 歴史的環境と景観に対する博物館資料の保存と活用について理解する。			講義	山内 利秋	
14	【博物館資源の活用2】 自然環境の保護と地域社会に対する博物館資料の保存と活用について理解する。			講義	山内 利秋	
15	【博物館資源の活用3】 地域資源と高齢化社会に対する博物館資料の保存と活用について理解する。			講義	山内 利秋	
教科書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		

科目名	博物館教育論		単位数	博物館教育論	法定科目名	2
担当者名	初木 郁朗 (非常勤講師)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	前期	30時間	
目的・概要	本講義では、博物館が置かれている現状と環境について理解し、博物館と教育との関係性および博物館における教育活動について学習する。また、県立文化施設において博物館教育の実際を経験し、博物館と社会との関わり、エデュケーターの必要性と心構えなどを学ぶ。					
評価方法	講義や実習中の学習状況と発表内容、リアクションペーパーの内容、実習報告書、レポートの成績を総合的に評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	講義では、受動的に“知る“だけでなく、能動的に”自ら考える”ことを念頭に置いて聴くこと。		オフィスアワー	講義前後の可能な時間		
授 業 計 画						
回数	タイトル (到達目標)			授業方法	担当	
1	オリエンテーション～博物館の活動を総合的に把握する。			講義	初木 郁朗	
2	博物館と社会教育に関する法規などを学ぶ。			講義	初木 郁朗	
3	博物館教育の歴史を学ぶ(その1)～日本の博物館教育			講義	初木 郁朗	
4	博物館教育の歴史を学ぶ(その2)～諸外国の博物館教育			講義	初木 郁朗	
5	教育に活用する素材を考える～何をどう伝えるか。			講義	初木 郁朗	
6	展示とワークショップの関係を考える～展示を活かす活動			講義	初木 郁朗	
7	ボランティアと学習活動について考える～生涯学習と博物館			講義	初木 郁朗	
8	博物館での活動を取り入れた学習例を検討する。(その1)			講義	初木 郁朗	
9	博物館での活動を取り入れた学習例を検討する。(その2)			講義・実習	初木 郁朗	
10	博物館講座を実践する～模擬講座と教育の実際(その1)			講義・実習	初木 郁朗	
11	博物館講座を実践する～模擬講座と教育の実際(その2)			講義・実習	初木 郁朗	
12	博物館の活動を取り入れた学習活動のあり方を考える。			講義	初木 郁朗	
13	博物館教育の実際を体験する。(その1)			実習	初木 郁朗	
14	博物館教育の実際を体験する。(その2)			実習	初木 郁朗	
15	博物館教育の実際を体験する。(その3)			実習	初木 郁朗	
教科書	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			
参考書	著者名		I S B N			
	書籍名	新しい博物館学	出版社名	芙蓉書房出版		
	著者名	全国大学博物館学講座協議会西日本部会	I S B N	978-4-8295-0416-1		
	書籍名	新博物館学 ～これからの博物館経営	出版社名	同成社		
	著者名	小林 克	I S B N	978-4-88621-488-1		

科目名	博物館展示論 I		単位数	博物館展示論	法定科目名	1
担当者名	増田 豪 (非常勤講師)					担当1名
学 科	動物生命薬科学科		3年次	前期	15時間	
目的・概要	博物館には様々な機能が存在する。なかでも展示は、博物館を他の教育機関と区別し、博物館を決定づける最も特徴的な機能である。事実、博物館と称されるものにおいて、その内容はともかくとして、展示の無い博物館は存在せず、対外的には博物館の顔を成すものである。本講義では、博物館展示における基本理念を理解するとともに、その理念を実現する上で必要となる、展示理論やその具体的手法に関する基礎的な知識および技術の習得を目的とする。					
評価方法	毎回の講義終了時に記入してもらうリアクション・ペーパー、受講態度、試験等の結果を総合的に評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	学芸員資格を取得するための必須の科目。他の関連科目との相互補完性が高いので、その点も留意して受講すること。また、積極的に各地の博物館を見学し、展示装置や解説等にも目を向けること。		オフィスアワー	講義前後の可能な時間		
授 業 計 画						
回数	タイトル (到達目標)			授業方法	担当	
1	【博物館における展示】 博物館における展示の理念・目的を理解し、展示と資料保存をどのようにして両立させるべきか説明できる。			講義	増田 豪	
2	【博物館展示の種類と形態】 博物館における様々な形態を理解し、その分類方法について説明できる。			講義	増田 豪	
3	【博物館の展示設備】 博物館における展示において必要となる設備等について理解し、何故、そうした設備が必要なのか説明できる。			講義	増田 豪	
4	【展示空間の構成と展示技術①】 国内外の博物館における解説パネル・キャプションの事例を学び、制作のための基礎知識を習得する。			講義	増田 豪	
5	【展示空間の構成と展示技術②】 視線計画や動線計画など、博物館において展示空間をデザインするために必要な基礎知識を習得する。			講義	増田 豪	
6	【展示空間の構成と展示技術③】 解説パネル・キャプションを制作し、先に学んだ理念や理論を実感し、基礎技術を習得する。			実習	増田 豪	
7	【展示空間の構成と展示技術④】 先に学んだ理念や理論を踏まえて展示図面を制作し、展示を企画するための基礎技術を習得する。			実習	増田 豪	
8	【展示の実施と評価】 展示を実施する上で必要となる経費や作業工程を理解すると共に、展示の評価方法について説明できる。			講義	増田 豪	
教科書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	書籍名	『新しい博物館学』		出版社名	芙蓉書房出版	
	著者名	全国大学博物館学講座協議会西日本部会 編		I S B N	978-4-8295-0416-1	
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		

科目名	博物館展示論Ⅱ		単位数	博物館展示論	法定科目名	1
担当者名	出口 智久 (非常勤講師)				担当1名	
学 科	動物生命薬科学科		3年次	後期	15時間	
目的・概要	博物館の一形態と位置づけられる動物園の具体的な展示事例に触れ、動物園の歴史や社会的役割 (4つの目的: 教育、レクリエーション、研究、自然保護)、展示法等を学び、展示の基本的な知識を習得する。多様化が進む動物園展示自体の変遷や目的に応じた展示手法、また、近年、出現した最新の展示理論なども国内外の動物園の事例を基に学習し、今後の動物園 (博物館) の方向性についても考えを巡らせる。					
評価方法	レポートと期末試験の点数で総合的に評価する。					
履修する上での必要条件 (注意事項)			オフィスアワー	講義前後の可能な時間		
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)			授業方法	担当	
1	【動物園とは】 博物館の一形態としての動物園の位置づけを認識し、歴史、社会的役割 (4つの目的: 教育、レクリエーション、研究、自然保護) について説明できる。また、宮崎市フェニックス自然動物園の展示形態の概要を理解する。			講義	出口 智久	
2	【動物園の展示法を学ぶ】 動物園の展示法を配列、課題的などに分類し理解する。あわせて、展示を構成する要素や留意事項等についても学習し、動物園展示の基本的な知識を習得する。			講義	出口 智久	
3	【動物園の展示について学ぶ】 哺乳類、鳥類、爬虫類といった分類ごとや、個体や群れといった飼育規模等、多様な展示形態を具体的に学習する。あわせて、近年、注目されている行動展示、生態展示等も利点と問題点を踏まえ、事例ごとに学習する。			講義	出口 智久	
4	【展示と解説について学ぶ】 非生物体の展示を学ぶ。展示と解説についても学習する。特に、宮崎市フェニックス自然動物園で行われている展示の解説について理解し、一部を体験する。			講義	出口 智久	
5	【展示の構成について学ぶ】 展示の構成要素について学ぶ。特に、動物園の解説サインの基本である種名ラベルについて学び、その作成まで習得する。			講義	出口 智久	
6	【日本の動物園の展示について】 日本の動物園について、地域性、目的性、特異性など、できる限り多くの事例を紹介し、動物園 (展示) の多様性を学び、解説の展示効果を体感する。			講義	出口 智久	
7	【海外の動物園の展示について】 海外の動物園、アメリカ、カナダの展示手法を紹介し、取り分け、カナダのウィニペグ市立の動物園はスタッフの様子も紹介し、そのお国柄についても思いを馳せる。			講義	出口 智久	
8	【動物園展示の展望】 動物園展示の今後の可能性を学び、宮崎市フェニックス自然動物園の展示の将来計画ならびに動物園の将来像とも結びつけて、自身の動物園展示への考えを巡らせる。			講義	出口 智久	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
教科書	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
参考書	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		
	著者名			I S B N		
	書籍名			出版社名		

科目名	薬用植物学		単位数	2	法定科目名	
担当者名	永井 勝幸 (非常勤講師)				担当1名	
学 科	動物生命薬科学科		1年次	前期	30時間	
目的・概要	身近に栽培される植物としての薬用植物について学ぶ。薬用植物についての歴史と現状、及びその生物学的特性と利用の問題点を理解する。植物のバイオテクノロジーの基礎知識を習得し、そのバイオテクノロジーを利用した有用物質の生産、遺伝子分析の応用について理解する。本学薬学部の薬草園において薬用植物に実際触れ、薬用植物の薬用部位、主要成分、薬効などの基礎的知識を修得する。					
評価方法	試験、レポート、授業態度をもとに評価する。					
履修する上での必要条件(注意事項)	博物館学芸員課程の指定科目である。		オフィスアワー	講義前後の可能な時間		
授 業 計 画						
回数	タ イ ト ル (到達目標)		授業方法	担 当		
1	薬用植物の歴史と現状について説明できる。		講義	永井 勝幸		
2	薬用植物の生産・利用・関連法令について説明できる。		講義	永井 勝幸		
3	薬用植物による健康被害・相互作用について説明できる。		講義	永井 勝幸		
4	植物のバイオテクノロジーの基礎について説明できる。		講義	永井 勝幸		
5	植物のバイオテクノロジーの利用について説明できる。		講義	永井 勝幸		
6	植物の分類について説明できる。		講義	永井 勝幸		
7	植物の形態について理解し説明できる。		講義	永井 勝幸		
8	代表的な薬用植物を形態が似ている植物と区別できる。		講義	永井 勝幸		
9	代表的な薬用植物の学名・薬用部位・薬効などを列挙できる。		講義	永井 勝幸		
10	代表的な薬用植物の学名・薬用部位・薬効などを列挙できる。		講義	永井 勝幸		
11	薬草園において代表的な薬用植物の形態を観察できる。		演習	永井 勝幸		
12	薬用部位による薬用植物の分類について理解し、概略を説明できる。		講義	永井 勝幸		
13	代表的な薬用植物に含有される薬効成分を説明できる。		講義	永井 勝幸		
14	薬効・成分による薬用植物の分類について理解し説明できる。		講義	永井 勝幸		
15	薬用植物学の総括 (重要事項を説明できたり列挙できたりする。)		講義	永井 勝幸		
教科書	書籍名	薬用植物学	出版社名	南江堂		
	著者名	野呂 征男・水野 瑞夫・木村 孟淳・田中 俊弘 編	I S B N	978-4-524-40208-3		
	書籍名	自分で採れる 薬になる植物図鑑	出版社名	柏書房		
	著者名	増田 和夫 監修	I S B N	978-4-76012997-3		
	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
参考書	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			
	書籍名		出版社名			
	著者名		I S B N			